

船舶事故等調査報告書

平成23年8月25日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010横第245号	
事故等種類	転覆	
発生日時	平成22年11月23日（火、祝日） 07時30分ごろ	
発生場所	千葉県勝浦市勝浦港 勝浦港南防波堤灯台から真方位200° 30m付近 （概位 北緯35° 08.6′ 東経140° 18.6′）	
事故等調査の経過	平成22年12月10日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	船種船名、総トン数 船船番号、船舶所有者等 乗組員等に関する情報	
死傷者等	なし	
損傷	船体に亀裂	
事故等の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、友人2人を乗せ、勝浦港南防波堤灯台南方付近を北進中、船首から波が打ち込み、船首が沈み始め、平成22年11月23日07時30分ごろ、左舷側から転覆した。 船長及び友人2人は、船底につかまって漂流し、南方の消波ブロックに流されたのち、海上保安庁及び漁船に救助された。	
気象・海象	気象：天気 小雨、風向 北北西、風力 4～6 海象：潮汐 下げ潮の初期、波高 約3m 特記事項：本事故発生時、関東海域全域には海上強風警報が発表されていた。	
その他の事項	本船は、3分割式のミニボートであり、本事故発生時の乾舷が約30～40cmであった。 船長及び友人2人は、救命胴衣を着用していた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり 不明 あり 本船は、勝浦港南防波堤灯台南方付近を北進中、船首から波が打ち込んだことから、乾舷が減少するとともに浸水が続いて転覆したのと考えられる。
原因	本事故は、本船が、勝浦港南防波堤灯台南方付近を北進中、船首から波が打ち込んだため、乾舷が減少するとともに浸水が続いて転覆したことにより発生したのと考えられる。	